

# 令和5年度学校経営方針

## 1 教育目標 「貢献 自立」～ともに 地域・社会の未来を拓く～

令和4年度から学校運営協議会の導入によりコミュニティ・スクールへと移行した。学校は今後一層、地域とのつながりを生かし、地域の未来を担う人材の育成が求められる。よりよい教育活動を推進できるよう教育課程を再構築し、「自己と学校、地域を誇りに思うとともにグローバルな視野をもつ生徒を育て、地域とともに歩む学校」を目指す。

## 2 目指す生徒像

「貢献」…地域・社会の課題解決に関心を高め、社会の形成に主体的に参画する生徒

「自立」…夢と志をもち、肯定的に自己理解を深め、自己実現に努める生徒

## 3 育成を目指す資質・能力

- (1) 自ら課題を求め、多面的・多角的な見方・考え方で物事の本質を捉え、主体的に解決しようと努力することができる
- (2) 自他の存在を価値あるものととらえ、多様な他者と協働し、しなやかに課題解決に取り組むことができる
- (3) 伝統を生かすとともに新たな価値を創造し、変化に柔軟に対応することができる

## 4 経営の方針と重点

(1) 経営の方針 生徒の「自己指導能力」を育てる

(2) 経営の重点

「自己指導能力」

その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で決めて、実行する能力

### ① 生徒にとって安心できる居場所となる「温かな学校」をつくる

- 道徳の授業をはじめ教育活動全体において、相手を思いやる言動について常に生徒に考えさせる機会を大切にして、いじめを許さない学校づくりを進める。
- 生徒理解を深め、生徒一人一人に必要な支援を行うことで、生徒が「やればできる」という実感を積み重ねて自己肯定感を高められるようにする。
- 学級を土台とした集団生活を通して、共感的に他者と関わり、誰とでも協力し合える集団づくりを進める。

### ② たくましく活力にあふれ「いのちをつなぐ生徒」を育てる

- 生徒会や各種実行委員会等の活動を支援し、生徒が自主的に取り組める活動を充実させる。
- 「いのちの教育」の充実を図り、自他の生命を尊重し、自分らしくよりよく生きようとする意欲を高める。
- 好きなことに打ち込んだり新しいことに挑戦したりするなど、生徒が主体的に暮らしを創ろうとする意欲を高める。

### ③ 「資質・能力の育成」を実現する授業づくりを推進する

- 目標・指導・評価の一体化を意識した単元計画に基づく授業を通して、生徒が課題を明確に持ち、自分で調整しながら学習を進める力を育てる。
- 生徒が教科の本質に触れて思考・判断・表現し、追究する学びがいのある課題を設定する。
- 相手意識をもって伝え合う学習活動を通して、よりよく伝えるために言葉を吟味するなど表現を工夫し豊かに伝え合える力を育てる。
- ブックトークやビブリオバトル(書評合戦)、「読み聞かせ」団体の活用などを通して、読書に対する興味・関心を高め、多くの本に親しんだり、内容を理解することや自分の考えを広げたり深めたりすることの面白さを実感させる。

### ④ 「地域と共に歩む学校」づくりを推進する

- 学習や生徒会活動、ボランティア活動などを通して、生徒が地域に目を向けて考えたり行動したりする機会を設定する。
- 地域の人・もの・ことを取り入れ、地域とつなげて考えたり、地域の人と関わったりして考えながら取り組める活動を推進する。